

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 19 日 作成

事務事業名		消防団員育成事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連		
総合 計画 体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	総務企画部	課長名 後藤一男		
	施策	1	危機管理・防災対策の推進		所属課	総務課	担当者名 田代純児		
	基本事業	1	災害の未然防止対策		所属班	交通防災班	(内線) 1225		
					法令根拠	消防組織法 合志市消防団規則			
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	8
		1	9	1	2	10011		コスト削減優先度評価結果	6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		S22	年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)									
【事業の内容】消防学校入校手続き、各訓練、教育の実施(春季訓練、夏季訓練、操法大会、ラッパ隊訓練、幹部研修等)									
【業務の流れ】年次計画の作成及び調整、消防学校入校手続き、支払い、各訓練の計画通知、開催、費用弁償支払い、研修地の選定、費用弁償の支払い									
【主な予算費目】職員手当 報償費 旅費(費用弁償)、需用費(消耗品費) 負担金補助及び交付金									

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 消防団員の教育訓練の実施(訓練7回、延べ1,864人参加) 消防学校への入校(副団長1人、分団長15人、班長42人参加)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度と同じ
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア教育、訓練の回数 ⇒ イ 回
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 消防団員	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア消防団員 ⇒ イ 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 消防技術、知識を身につける	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア団員が訓練等に参加し技術・知識が身についたと思う幹部(分団長以上)の割合 % ⇒ イ %
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 災害に備えることができる	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア公的機関の耐震化率 % ⇒ イ 危険箇所の未整備箇所数 箇所

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度		
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 22 年度	97.8 31	
		都道府県支出金	千円									
		地方債	千円									
		その他	千円									
		繰入金	千円									
	人件費	一般財源	千円	2,105	1,923	7,195	5,445	3,849	7,195			3,849
		(A) 事業費計	千円	2,105	1,923	7,195	5,445	3,849	7,195			3,849
		うち指定経費	千円									
		うち時間外、特殊勤務手当	千円									
		トータルコスト(A)+(B)	千円	4,328	3,714	9,424	9,624	6,078	11,374			6,078
活動指標	ア イ	回	6	7	7	10	10	10	10			
対象指標	ア イ	人	745	745	745	745	745	745	745			
成果指標	ア イ	%	未把握	100	100	100	100	100	100			
上位成果指標	ア イ	% 箇所	90.2 32	90.3 32	90.2 32	89.9 32	95.7 31	97.8 31	97.8 31			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

消防団制度が確立し、同時に団員の育成を始めた

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

サラリーマン化が進み、団員確保が困難である
合併により団員が増加し、訓練場所の確保が難しくなっている

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

特になし。

事務事業名	消防団員育成事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 意図の「消防技術、知識を身につける」ことが、結果の「災害に備えることができる」に繋がるので、妥当である。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 消防組織法及び志志市消防団規則により、団員には教育訓練の機会を与えるように規定されているので、適切である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象、意図とも適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 現時点で、100パーセントで、これ以上向上の余地はないが、各種教育訓練を繰り返し行うことで、より高い知識・技術の習得を目指す。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 教育訓練の機会がなくなれば、団員の資質が低下し、消防活動全体に大きな支障をきたす。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 消防団員を育成する事業は本事業のみである <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 各種訓練に係る団員の旅費、消防学校への負担金等であり、削減はできない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 各種訓練等の準備に要する事務であり、削減はできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 特定されない市民の生命、財産を守ることための消防団員の育成であり、公平である

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	結果としては現状維持となるが、消防団の訓練等、工夫を凝らすなど、多くの団員の参加ができるよう、働きかける。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	5	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	6	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)